

校長のつぶやき II

校長室便り 第41号

令和2年11月2日 山内

○駅伝シーズン到来 ー校長室前の短歌ー



11月1日(日)駅伝シーズンの幕開け、第52回全日本大学駅伝が愛知県と三重県で開催されました。優勝は我が母校駒澤大学が六年ぶりに王者に返り咲きました。一年前のMGC時には駒大出身の中村匠吾選手を家族全員でTVの前で大声で応援して以来、昨日もそれ以上の大声でアンカーの田澤廉選手を応援しました。昨年のMGCも今年の全日本駅伝も共通しているのは残り2キロを切ったあたりまで2~3人によるデットヒート。まさに校長室前の岩高短歌・若松勝史さん(平成29年度卒)の「誰が出る 残り一キロ横並び 意地がぶつかる ラストスパート」がぴったりの名勝負でした。先月の校内マラソン大会では岩高生の皆さんの懸命に走る姿に感動しましたが、歳を重ねると若者が必死に歯を食いしばって走る姿に勇気をもらいます。それが自分の学校の生徒だったり、母校の後輩達であれば、感動の度合いが違います。さらに今年はコロナ禍での大会運営は本当に大変でした。マラソン大会運営に尽力した岩高の先生方や地域の方々、大学駅伝でも運営にあたられた方々に敬意を表するものです。

○今野先輩熱投 ー優勝がかかった試合でも登板ー



10月30日(金)プロ野球セリーグは巨人はヤクルトと引き分けたものの、2位の球団も引き分けたため、2連覇を達成しました。巨人対ヤクルト戦は巨人1点リードの7回裏、マウンドには我が今野龍太先輩が上がりました。坂本・岡本・丸という中軸に2三振を含む3者凡退で切り抜けました。優勝がかかった試合でしかもクリンアップ相手の登板とは本当にすごいところでの登板です。試合はその後ヤクルトが同点に追いつき延長引き分けとなりましたが、その流れを作ったのは間違いなく今野先輩の熱投です。母校の先輩です。これからも応援しましょう。

○地域貢献 ー11月16日 今年も行います「岩小読み聞かせ」ー



昨年は3年生の「発達と保育」で岩小の児童達に読み聞かせを行い新聞や地域官報等でも取り上げられ地域貢献として「吉野作造記念館」からも表彰されましたが、今年はコロナの影響で実施できずにいましたが、11月16日(月)に行う予定です。左の写真は今年の3年生の「発達と保育」の皆さんが作成したもので、地域のご高齢の方々の施設に寄贈したものです。ボランティア部顧問の吉田先生が持参する前に校長室で撮影したものです。

岩高は「地域と共に」「地域学び・地域に育ち・地域を担う」がスローガンです。コロナ禍でも出来る限り地域に貢献しましょう。今回のつぶやきはこれでお終いです。

※本日、身だしなみ検査で指導を受けた岩高生の自主的な改善を信じて岩高の先生方は待ちます。